

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

吹田市立岸部第一小学校

校長 清水 厚彦

本年度、6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

Ⅰ. 教科に関する調査の分析

1. 国語 全体として正答率は全国値とほぼ同じです。

記述式や理由を問われる問いに対して無回答の児童の割合が、全国値を上回り、課題と捉えています。

①学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕の内容に基づく問題

言葉の特徴や使い方に関する事項

・漢字を文の中で正しく使うことは全国値を上回りました。

情報の扱い方に関する事項

・情報と情報との関係づけの仕方を理解したり、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことは全国値とほぼ同じです。

我が国の言語文化に関する事項

・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができることは全国値を下回りました。

②学習指導要領に示されている〔思考力・判断力・表現力〕の内容に基づく問題

話すこと・聞くこと

・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができることは全国値を上回りました。

・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができること、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝え合う内容を検討することは全国値を下回りました。

書くこと

- ・目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表しかたを工夫することは全国値を上回りました。

読むこと

以下の問題は全国値を下回りました。

- ・人物像の物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。

③課題に対しての指導改善について

- 記述式の問いに対して、正答率が低く、また無回答率が高いことについて、日頃から条件に沿った文の構成を考えたり、自分の考えを要約したりする授業を充実させていきます。
- 話すこと・聞くことについては、目的や意図、相手に応じて伝える内容を検討したり、集めた材料・資料を分類・関係づけ伝える内容を明確にできたりするように指導を工夫します。
- 書くことについては、事実と感想、意見の違いを明確にすることや読み手を意識して、わかりやすい言葉、表現、順序で書けるように指導をしていきます。
また、お互いに書いた文章を読みあい、具体的な感想や意見を伝え合うことを通して良さを見つけたり、良さを言葉に表したりできるようにしていきます。また、それを自分の表現にいかすことができるようにしていきます。
- 読むことについては、物語の中の登場人物の心情や相関関係がわかる描写や、読み手が想像できる描写に着目しながら読むように指導していきます。説明文の授業では筆者が伝えたいことを要約したり、自分の考えを文章で書き表したりする授業を充実させていきます。

2. 算数 全体として正答率は全国値とほぼ同じです。

①学習指導要領に示されている各領域の内容に基づく問題

数と計算

- ・数量の関係をとらえ式や言葉を用いて表すことは正答率が高く、概ね理解できており、また全国値を上回りました。
- ・球の直径の長さをを用いて、立方体の体積を求める問いについては正答率に課題が見られるものの、全国値を上回りました。
- ・球の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係を理解し、円柱の展開図を選択することは全国値を下回りました。

変化と関係

- ・速さの意味について理解することは全国値を上回りました。
- ・道のりが等しく、かかった時間が異なる場合の速さについて、どちらが速いか理由を記述することについては課題が見られるものの、全国値をやや上回りました。

データの活用

- ・円グラフを読み取ったり、示されたデータを分類・整理したりすることは正答率が高く概ね理解できているものの全国値はやや下回りました。

②課題に対しての指導改善について

■基礎的な問題については概ね定着しているが発展、応用の問題になると課題が見られます。

そのため、日常的な場面で活用する経験を通して考えていくことを授業で充実させていきます。また、基礎的な計算について力がついてきていることを生かし、考え方を式や言葉で表す力がつくように指導していきます。

■問題文を読んで内容を理解し解答することに課題が見られます。また、数値や言葉、図や表を使い説明することについても課題が見られます。そのため、今後の授業の中で、自らの力で問いや課題を適切に捉え、自分の考えを説明する場面・指導をより充実させていきます。

II. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【教科・学習に関する質問】

全国値とほぼ同じもの

- ・英語が大切だと思う。
- ・英語の勉強は好き。

全国値を上回るもの・やや上回るもの

- ・国語、算数の勉強が好き。
- ・国語の勉強は大切だと思う。
- ・英語の授業の内容がよくわかる。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。

全国値を下回るもの

- ・算数の勉強は大切だと思う

【基本的な生活習慣等の質問】

全国値とほぼ同じもの

- ・学校に行くのは楽しいと思う。
- ・毎日同じ時刻に寝ている。

全国値を上回っているもの

- ・毎日朝食を全くとっていない、ほとんどとっていない。
- ・学校の授業時間以外に普段、1日当たりの勉強時間について「全くしない、30分より少ない」
- ・学校が休みの日、家で勉強を全くしない。
- ・平日1日当たりのゲームの時間（2時間以上）
- ・平日1日当たりの時間のスマートフォンやSNS・動画視聴の時間（2時間以上）

【挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等の質問】

全国値とほぼ同じもの

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。

全国値を上回っているもの・やや上回っているもの

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できる。
- ・学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。

全国値を下回っているもの・やや下回っているもの

- ・自分には、良いところがある。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはある。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

【改善と向上に向けて】

■ 友だちや周りの人の考えを大切にする話し合い活動で自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりする力や互いの意見のよさを生かして課題を解決する力をさらに高めるために、児童同士の対話的な授業がよりよいものとなるよう教員の研究を進めるとともに、委員会活動、異学年交流等をより充実させていきます。

■ 「自分には、良いところがある」の項目が依然、全国値を下回っており、自尊感情、自己有用感を高められるよう、委員会や様々な実行委員会等において、自分たちで学校や行事を作る力を育んだり、異学年交流で人の役に立ったりする良さや嬉しさを子どもたちが実感できるようにします。

また、「セルフエスティーム」、「もちあじ」の学習などをさらに充実させるとともに、子どもたちの頑張りを様々な場面で発信し続け、良さに気が付くことができる取り組みを継続していきます。

■ 1日当たりのスマートフォンやSNS・動画視聴の時間が非常に長いことが課題として挙げられます。適切に使用すると、便利で、生活を豊かにするものですが、夜遅くまで使用し、寝不足で、授業に集中できていない姿も見られます。

使用方法、時間についてはご家庭との連携が大切になります。ご家庭でも今一度、お話しいただいたり、きまりを決めていただいたりするなどのご協力をお願いいたします。